

南魚沼市長 林 茂 男 様
南魚沼市議会議長 小 澤 実 様
南魚沼市教育長 岡 村 秀 康 様

南魚沼市監査委員 片 桐 真 司
南魚沼市監査委員 関 常 幸

財政援助団体等の監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果を報告します。

記

1 基準に準拠している旨

監査委員は、南魚沼市監査基準（令和2年2月12日監査委員告示第1号）に準拠して監査を行った。

2 監査の対象

令和2年度において、南魚沼市が補助金等を交付した団体（財政援助団体）及び公の施設の管理を行わせている団体（指定管理者）。

3 監査の実施期間及び実施団体 令和3年8月24日から令和3年10月25日まで

実施月日	実 施 団 体
9月28日	上田ふるさと協議会 公益財団法人 南魚沼市文化スポーツ振興公社
9月29日	公益社団法人 南魚沼シルバー人材センター

4 監査を実施した監査委員

南魚沼市監査委員 片 桐 真 司
南魚沼市監査委員 関 常 幸

5 監査の方法

監査にあたっては、現地に赴き、各団体から提出された資料及び提示のあった関係帳簿・関係書類を調査するとともに、次の点を中心に関係職員からの説明を聴取するなどの方法により実施した。また、指定管理者が管理する施設（以下「指定管理施設」という。）については、当該施設の現地調査を実施した。

- (1) 交付された補助金等が交付目的どおりの効果を発揮しているか
- (2) 指定管理制度が有効に機能しているか

6 監査の結果

交付された補助金等に係る出納その他の事務は概ね適正に処理され、その目的どおりの効果があるものと認められた。

指定管理施設の管理・運営についても適正に行われているものと認められた。

各団体に係る監査の結果は、以下のとおりである。

なお、表中の金額の単位未満は四捨五入した。

○上田ふるさと協議会

1 補助金の交付状況（令和2年度）

(1) 地域活性化支援事業交付金	2, 890, 000円
(2) 地域活動拠点支援交付金	2, 110, 000円

2 団体の概要

名称：上田ふるさと協議会

設立：平成30年4月1日

会員数：24名

(会長1名、副会長2名、事務局長1名、補助員1名、行政区長等19名)

業務内容：地域コミュニティの活性化を図る活動拠点としての業務

3 監査の結果

(1) 令和2年度決算の概要

①地域活性化支援事業

<基礎事業 収入の部>

(単位：円)

区分	決算額	摘要
前年度繰越	95, 300	
地域活性化支援事業交付金	1, 000, 000	市より
提案事業より振替	700, 000	提案事業より
合計	1, 795, 300	

<基礎事業 支出の部>

(単位：円)

区分	決算額	摘要
基礎事業	833, 670	3件
LED灯具支給事業	149, 105	15件
振込手数料	3, 300	11件
合計	986, 075	

収入合計1, 795, 300－支出合計986, 075＝809, 225円

809, 225円のうち、繰越事業 240, 000円

LED化促進事業 500, 000円

次年度へ繰越 69, 225円

<提案事業 収入の部>

(単位：円)

区 分	決算額	摘 要
前年度繰越	33,341	
地域活性化支援事業交付金	1,890,000	市より
パイロット事業交付金	452,000	ネイチャーパーティー
日赤地域福祉活動費	25,000	
事務所費用按分	7,920	広域協定より
雑収入	38,351	コピー代 貯金利息他
合 計	2,446,612	

<提案事業 支出の部>

(単位：円)

区 分	決算額	摘 要
提案事業	1,503,145	11件
事務局運営費他	210,027	振込手数料 NTT回線料 用品・備品代等
基礎事業へ振替	700,000	基礎事業へ
合 計	2,413,172	

収入合計 2,446,612 - 支出合計 2,413,172

= 次年度繰越金 33,440円

②地域活動拠点支援事業

<収入の部>

(単位：円)

区 分	決算額	摘 要
前年度繰越金	38,160	
地域活動拠点支援事業交付金	2,110,000	市より
労働保険個人負担分	4,350	
事務所経費按分	262,881	広域協定より
合 計	2,415,391	

<支出の部>

(単位：円)

区 分	決算額	摘 要
給与及び配送費	1,855,000	事務長・補助員
NTT 東日本回線料	102,689	広域協定按分 51,344円
労働保険料	22,237	
コピー機使用料	355,097	広域協定按分 211,537円
鍵保管料	15,000	
振込手数料	3,080	
合 計	2,353,103	

収入合計 2,415,391 - 支出合計 2,353,103

= 次年度繰越金 62,288円

(2) 補助事業の概要

地域活性化支援事業交付金は、地域の課題解決又は活性化に繋がるために行う事業費で、基礎事業（主に地元で管理する法定外公共物の修繕及び市道に付帯する道路構造に影響を与えない軽微な修繕に要する経費）、提案事業（地区としての特性を活かし、地域活性化のため独自に計画する事業に要する経費）と人口割により算出された額、その他加算等の合計を交付するものである。

地域活動拠点支援交付金は、地区住民の集える自治活動の拠点づくりの場を提供し、市民の手による望ましい地域社会づくりの推進に資することを目的として設置された地区センターの管理運営等に要する経費を交付するものである。

いずれも南魚沼市地域コミュニティ活性化事業実施要綱（平成24年2月24日告示第24号）に基づき実施されている。

(3) 監査委員の所感

旧町単位の12地区で地域づくり協議会が設置されており、各地域で独自のコミュニティ活動を行っている。上田地区は小学校の統合・保育園の統廃合により、上田ふるさと協議会を中心に一つの地区として地域に密着した活動を精力的に行っている。また、「医療のまちづくり」のモデル地域として、地域づくり協議会がある上田農村環境改善センターにおいて、巡回診療、リモート診察、「まめでいきいき倶楽部」事業などを行い、希望者には送迎支援も行っている。

子ども・若者も巻き込みつつお年寄りに寄り添い、地域の総力で、地域を活性化し住民の連帯を深め安心安全の地域となるよう、引続き、地域の特性を活かした事業の推進を望むものである。

○公益財団法人 南魚沼市文化スポーツ振興公社

1 補助金・指定管理委託料・減収補填金の交付状況（令和2年度）

(1) 補助金

南魚沼市民会館管理運営費補助金（人件費分）	24,235,000円
鈴木牧之記念館管理運営費補助金（人件費分）	8,471,000円
南魚沼市トミオカホワイト美術館管理運営費補助金（人件費分）	9,687,000円
南魚沼市スポーツコミュニティセンター管理運営費補助金（人件費分）	43,771,000円
小栗山サンスポーツランド管理運営費補助金（人件費分）	1,281,000円
総合型地域スポーツクラブ南魚スポーツパラダイス事業運営費補助金	4,616,000円

(2) 指定管理委託料

(単位：円)

施設名	令和2年度委託料	令和2年度利用料金
南魚沼市民会館	22,326,166	9,275,790
鈴木牧之記念館	3,171,000	1,183,610
南魚沼市トミオカホワイト美術館	4,610,000	1,510,600
南魚沼市スポーツコミュニティセンター	12,110,000	15,411,400
二日町体育館	1,439,000	109,850
小栗山サンスポーツランド	520,000	2,037,990
五日町雪国スポーツ館	1,126,000	129,440
二日町グラウンド	613,000	144,160
塩沢グラウンド	75,000	14,000
大福寺工業団地多目的広場	137,000	19,960
塩沢勤労者体育センター	815,000	98,250
中之島農村広場	101,000	0
すばーく塩沢	1,132,000	22,120
南魚沼市大和B&G海洋センター	822,000	88,440
大和野球場	1,458,000	82,420
浦佐体育館	546,000	61,420
浦佐グラウンド	57,000	14,520

(3) 減収補填金

南魚沼市民会館	7,090,828円
鈴木牧之記念館	1,231,972円
南魚沼市トミオカホワイト美術館	239,166円
南魚沼市体育施設	6,455,599円

2 団体の概要

設立	昭和63年3月1日
基本財産	6,000万円
役員	理事7名 監事2名 評議員7名
職員	12名
目的	市民の文化芸術及びスポーツ活動などの生涯学習の振興に資する事業を行い、もって、文化スポーツの向上を図り、健康で豊かな活力ある地域社会の創造と福祉の向上に寄与すること（定款から）。

3 監査の結果

(1) 令和2年度決算額（正味財産増減計算書）※減収補填金分を含む (単位：千円)

科 目	令和2年度	令和元年度	増 減
1 経 常 収 益			
会 費	6,959	9,153	△2,194
利 用 料 金	30,204	50,827	△20,623
指 定 管 理 委 託 料 ※	66,076	45,538	20,538
市 補 助 金	92,061	89,386	2,675
市 委 託 料	14,023	13,704	319
そ の 他	10,115	26,479	△16,364
小 計	219,438	235,087	△15,649
2 経 常 費 用			
事 業 管 理 費	79,059	82,129	△3,070
うち人件費	78,676	81,893	△3,217
南魚沼市民会館	40,166	39,139	1,027
鈴木牧之記念館	7,237	7,566	△329
南魚沼市トミオカホワイト美術館	7,651	7,507	144
南魚沼市スポーツコミュニティセンター	46,681	44,150	2,531
二日町体育館	1,636	2,031	△395
小栗山サンスポーツランド	3,338	3,607	△269
五日町雪国スポーツ館	1,209	1,254	△45
屋外体育施設	1,012	1,134	△122
塩沢勤労者体育センター	1,356	1,180	176
中之島農村広場	77	146	△69
すばやく塩沢	886	914	△28
大和B&G海洋センター	927	430	497
大和野球場	894	846	48
浦佐体育館	485	390	95
浦佐グラウンド	23	97	△74
管 理 費	4,416	4,658	△242
そ の 他	20,894	40,785	△19,891
小 計	217,947	237,963	△20,016
当 期 経 常 増 減 額	1,491	△2,876	4,367

(2) 監査委員の所感

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や事業の中止や延期、利用のキャンセル等により各施設で利用者及び利用料金が大幅に減少した。困難な状況下であったが、感染予防策を徹底し利用者の安全安心を第一に、各種事業を開催し取り組んだ。

今後も新型コロナウイルス感染予防策を講じながら多様化する市民ニーズに応え、経営の改善等に積極的に取り組みながら、市民サービスに努めていただきたい。

○公益社団法人 南魚沼シルバー人材センター

1 補助金・指定管理委託料・減収補填金の交付状況（令和2年度）

(1) 南魚沼シルバー人材センター運営費補助金	10,333,000円
(2) 南魚沼市ふれ愛支援センター指定管理委託料	5,124,921円
(3) 新型コロナ特別減収補填金	1,057,524円

2 団体の概要

設 立 昭和62年4月2日

会 員 数 866人

役 員 理事14名 監事2名

事業実績

項 目	令和2年度	令和元年度	増 減
受 注 件 数 (件)	3,799	4,239	△440
就 業 延 人 員 (人)	74,152	77,555	△3,403
就 業 率 (%)	91.2	91.8	△0.6
契 約 金 額 (万円)	30,487	33,324	△2,837

3 監査の結果

(1) 令和2年度決算額（正味財産増減計算書）※減収補填金分を含む（単位：千円）

科 目	令和2年度	令和元年度	増 減
1 経常収益			
指定管理委託料※	6, 182	4, 704	1, 478
市補助金	10, 333	10, 333	0
連合交付金	12, 364	12, 352	12
受取配分金	181, 712	199, 986	△18, 274
受取材料費等	9, 847	9, 080	767
受取事務費	13, 543	14, 639	△1, 096
その他	16, 261	20, 011	△3, 750
小計	250, 242	271, 105	△20, 863
2 経常費用			
事業費	251, 707	271, 948	△20, 241
支払配分金	183, 243	201, 508	△18, 265
支払材料費等	9, 249	8, 706	543
人件費	26, 431	24, 814	1, 617
その他	32, 784	36, 920	△4, 136
管理費	2, 099	2, 685	△586
人件費	874	859	15
その他	1, 225	1, 826	△601
小計	253, 806	274, 633	△20, 827
当期経常増減額	△3, 564	△3, 528	△36
当期経常外増減額	0	0	0
当期増減額	△3, 564	△3, 528	△36

(2) 南魚沼市ふれ愛支援センター収支内訳（単位：千円）

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	
収入	利用料	1, 717	2, 689	△972
	委託料	5, 125	4, 704	421
	利用料減収補填	1, 058	0	1, 058
	その他	2, 302	2, 300	2
	計	10, 202	9, 693	509
支出	人件費	1, 531	1, 522	9
	光熱水費	4, 808	4, 348	460
	委託料	2, 951	2, 595	356
	その他	912	1, 228	△316
	計	10, 202	9, 693	509
収支差額	0	0	0	

(3) 監査委員の所感

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の中、感染防止対策をとりながら各種事業を進めてきた。

令和元年度から取り組みを始めた第4次事業拡大5か年計画の2年目として、会員の確保、特に高齢者の生活支援、要支援者生活サポート事業を担う女性会員の確保や、就業機会の拡大と自主財源の確保、「安全がすべてに優先する」を共通認識とする事故ゼロへの取り組みを課題として掲げ、積極的な取り組みを行っている。

一方で、定年延長や企業の直接雇用への転換による新規加入会員の減少、加入年齢の高齢化に伴う技能分野就業会員の後継者不足など多くの課題への対策が求められている。加えて新型コロナウイルス感染症による観光事業の落ち込みによる受注減も見受けられ、契約金額も前年を下回る結果となっている。

高齢者が知識、経験を活かし、地域社会において「いきいき」と活動することは、健康寿命の延びにもつながるものであり、就労という面から、高齢者と地域を結びつける当該団体の役割は重要である。今後も企業や老人会と連携するなど様々な方法で会員の確保を図り、高齢者の就業機会の確保に取り組まれることを望むものである。

ふれ愛支援センターは、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止、利用者の減少が見られ、利用料収入の不足分について市から補填がなされている。当該団体以外に3件の入居団体があり、立地条件もよく、通常の年においては多くの方が利用している。今後も安全面に配慮し、効率的な施設管理と有効利用に努めていきたい。